



環境報告書

2011



HANAMURA

花村産業株式会社

会社概要

会社名	花村産業株式会社
本社所在地	長野県松本市市場 5-26
	TEL 0263-27-1850
	FAX 0263-29-4740
URL	http://www.hanamurasangyo.co.jp
創業	1909年（明治42年）8月
創立	1947年（昭和22年）7月
資本金	1億4,700万円
代表者	代表取締役社長 花村泰年
事業及び製品	金属製品の加工・販売、建設業、金属原料の加工・販売・輸送、産業廃棄物収集運搬・処分業、アルミニウム二次合金地金の製造・販売
事業所	松本、長野、東京、千葉、名古屋
営業所	栃木
駐在員事務所	フィリピン、ベトナム
関連会社	タイセイ金属㈱、花村香港有限公司、花村工貿有限公司（逢初グループ）

目次

02 会社概要

03 トップメッセージ

04 品質・環境方針

05 2010年度環境目的・目標とその結果
2010年度環境パフォーマンス①

06 2010年度環境パフォーマンス②

07 法規制等への対応

08 環境コミュニケーション

09 環境活動のあゆみ



■発行	2011年11月 (次回2012年8月発行予定)
■対象期間	2010年6月1日～2011年5月31日 (一部過去の活動と2011年度の活動、将来の計画を含む)
■データの集計範囲	花村産業㈱国内全拠点
■参考としたガイドライン	環境報告書ガイドライン 2007年版 (環境省)
◇表紙写真	社員撮影(伊豆)

企業理念

お客様には満足を、社員には幸福を追求する。

企業倫理（道徳）

企業の繁栄は地域の発展なくしてはあり得ない。そこで、わが社は常に企業活動を通じて社会の進歩発展に貢献し、そこで得た利益をまた新たな事業を通して社会に還元していくことを目的とする。

行動指針（方針）

各事業所・工場とも地域におけるシェアの向上に努める。
お客様の求めるものを正確に把握し、次への飛躍とすることが必要である。そのためには社員一人一人が必ず課題を持ち、問題を解決していく行動力を持つことである。



2011年3月には岩手・宮城・福島を中心とした東日本大震災が発生しましたが、現在に至るまで東京電力福島第一原発による放射能汚染問題は収束されておられません。6月には長野県松本市南部においても大きな地震が発生し、多くの家屋で屋根瓦などに損傷を受けました。また10月にはタイにおいて記録的な大洪水が発生し、進出している多くの日系企業が工場の浸水に見舞われました。ここに被災された皆様に、心からお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

2010年9月に庄内リニューアル第一期工事が終了し、お陰様で10月から鉄スクラップの加工設備が稼動し始めました。リーマンショック以降は設備投資の抑制が継続するなかで、自動車業界において景気回復の兆しが見え始めた矢先に震災が発生、その後は欧州債務危機の長期化、また米国の追加金融緩和で円が急騰しました。製造業は海外移転を一層加速させており、国内輸出産業は大変厳しい局面を迎えております。

当社としては引き続き法令を遵守しながら、日本国内はもとよりアジア地域に、迅速かつ積極的に展開して、「新市場」「新顧客」「新商品」に向けた取り組みを強化して、お取引先の要望に的確に応えてゆく所存でございます。

花村産業株式会社

取締役社長

花村 泰幸

品質・環境方針

【品質・環境方針】

花村産業株式会社の繁栄は、地域の発展なくしてはあり得ない。そこで、わが社は常に企業活動である金属の流通・加工・製造を通じて社会の進歩発展に貢献し、21世紀の重要課題である品質の向上と地球環境の保全に向けた循環型経済社会へ、積極的に貢献していくことを考え方の基本とする。

【行動指針】

- 1、常にお取引先及び地域社会の立場で、品質・環境マネジメントシステムの継続的改善に努める。
- 2、専門知識を習得し、お取引先及び地域社会のニーズを満たす品質を確立する。
- 3、事業活動に関する品質・環境法規制及びその他当社が同意した外部からの要求事項を順守する。
- 4、方針に沿った目標・課題を設定し、不良品や環境負荷低減、環境汚染流出予防に努める。
- 5、品質・環境に関する教育を通じて、社員の品質改善・環境保全に関する意識の高揚を図る。

【次の事項を品質目標として取り組む】

- ①Low Cost Operation につながる改善提案活動をする
- ②外部のコスト低減に貢献できる改善提案活動をする

【次の事項を環境保全活動の重点課題として取り組む】

- ①環境保全活動へ参画する
- ②省エネ・省資源化に取り組む
- ③有害化学物質に対する環境リスクマネジメントを実施する
- ④環境コミュニケーションを推進する
- ⑤排水・排気などの排出物及び廃棄物を管理する
- ⑥3S による職場環境の改善と安全衛生管理の向上を図る

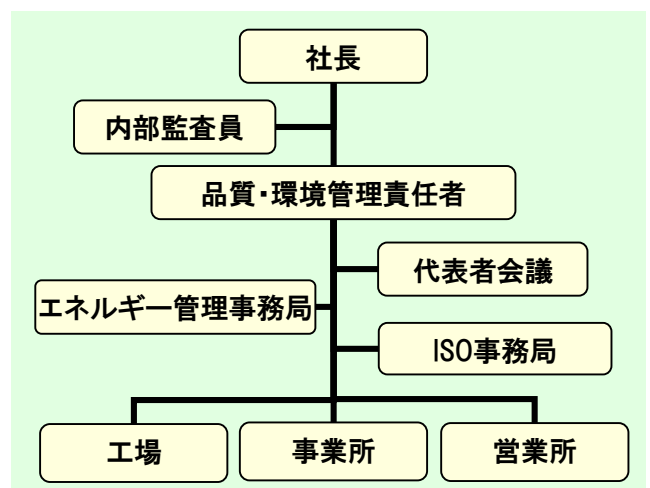
2011年6月1日 改訂

管理体制

当社は、ISO14001規格に基づいて環境マネジメントシステムを構築し、環境保全活動を推進しています。

システムを有効に機能させるため、事業所・工場の代表者と事務局、管理責任者で構成する代表者会議を定期的開催し、全社の統括を図る体制を作っています。

また、年1回社員による内部監査を実施し、システムの有効性をチェックしています。

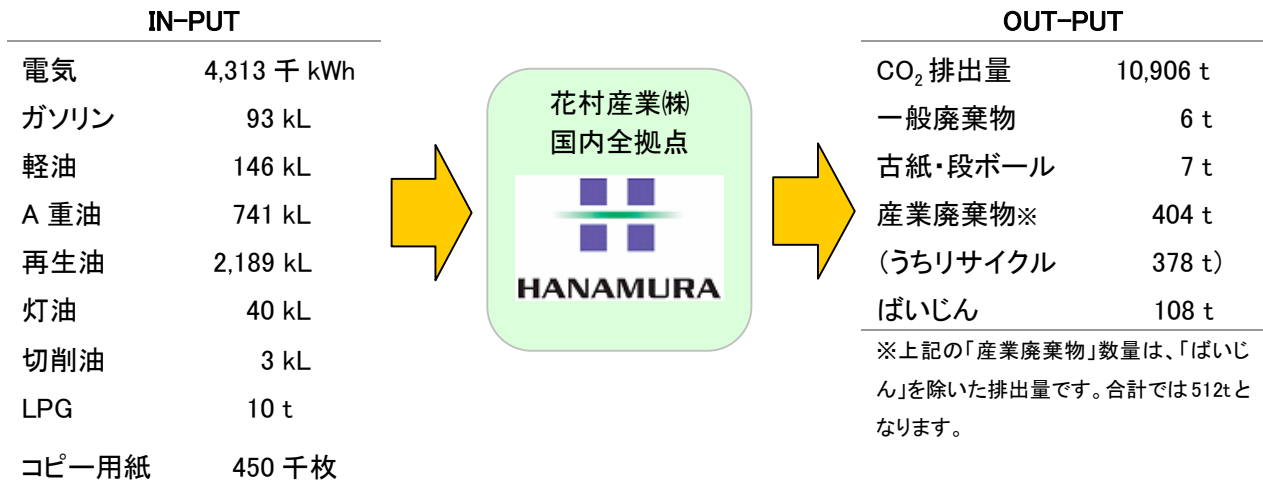


2010年度 環境目的・目標と結果

全社の目標を達成するため、事業所毎に目標を立て、計画的に環境パフォーマンスの向上を図っています。

環境目的	2010年度 目標	2010年度 実績	評価
1.電力使用量削減			
原単位管理又は総量管理で2010年度末まで2007年度実績を維持する。	5,155 千 kWh	4,313 千 kWh 16%削減	○
2.産業廃棄物の最終処分率削減			
産業廃棄物の最終処分率を2010年度末までに20%にする。	最終処分率 20%未満 (アルミニウム工場から排出されるばいじんは別管理とする。)	最終処分率 6.8%	○
3.プラスの環境側面			
<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン調達、環境配慮商品販売量増加 ・周辺地域とのコミュニケーション ・省エネ、CO₂削減活動 ・KY活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境対応商品の取扱品種、販売量を増加させる【目標 2,361t】 	3,032.4t 達成率 128%	○
	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺清掃、見学受入れ、情報公開等を実施する。 ・省エネ設備の導入、作業の効率化などを検討・実施する。 ・事業所内でのKY活動、リスクアセスメント、協力業者への教育等を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺清掃実施(毎月) ・産廃情報ネット情報更新 ・ホームページ、事務所掲載によるダイオキシン等の測定値公開 ・学校、取引先などの見学受入 そのほか、各事業所にて取り組みを実施しました。	○

2010年度 全社環境パフォーマンス①

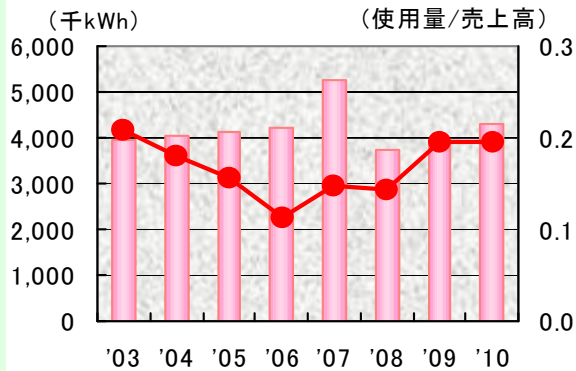


【IN-PUT】
 エネルギー総使用量は前期比で微増となりました。主に電力使用量が増えており、環境目標は達成しましたが、前期比で12%増加しています。

【OUT-PUT】
 電力使用量の増加により、CO₂ 排出量も前期比で9%の増加となりました。産業廃棄物は、庄内事業所の新鉄ヤードが稼働したこともあり、前期比で排出量が23%増加しました。

2010年度 全社環境パフォーマンス②

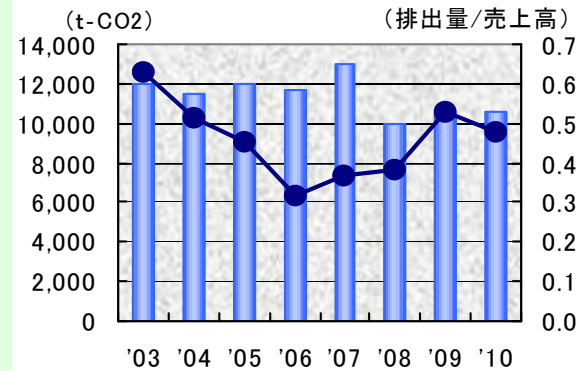
電力使用量推移 (使用量・原単位)



※総量 (千 kWh) : 棒グラフ

原単位 (使用量/売上高) : 折れ線グラフ

CO₂ 排出量推移 (排出量・原単位)



※総量 (t-CO₂) : 棒グラフ

原単位 (排出量/売上高) : 折れ線グラフ

◇全社電力使用量、CO₂ 排出量推移

2007年度は設備更新を行ったため、電力使用量・CO₂ 排出量とも大幅に増加しています。2008年度と2009年度については、経済状況の悪化によって取扱量・生産量が大幅に減少したこともあり、電力使用量とCO₂ 排出量も減少しました。

2010年度については、徐々に取扱量・生産量が回復してきたこともあり、前期比で電力使用量が12%、CO₂ 排出量が4%の増加となりました。

◇産業廃棄物の最終処分率推移

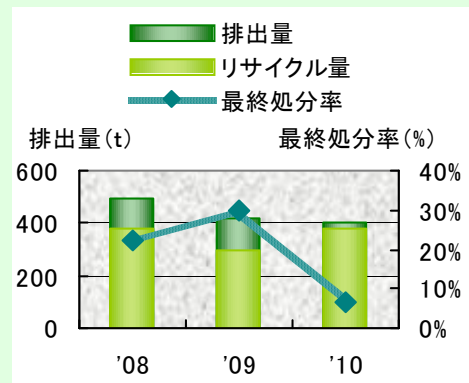
2008年度から総排出量とリサイクル量を把握し、最終処分率を低減することを目標に取り組みを行なっています。

前年度は最終処分率 25%以下の目標に対し、結果が30%で未達成となってしまいました。

原因を追求した結果、アルミニウム工場から生産の過程で排出されるばいじんが埋め立て処分となっているためであることがわかりました。ばいじんについて現状ではリサイクルが難しく、コスト面も勘案して別管理とし、2010年度は目標を達成することができました。

ばいじんについても、引き続き埋め立て以外の処分方法を検討していきます。

産業廃棄物 (排出量・最終処分率)



◇環境配慮商品の取扱

環境問題や各種規制等に対応するため、環境配慮商品の取扱量増加を目指しています。

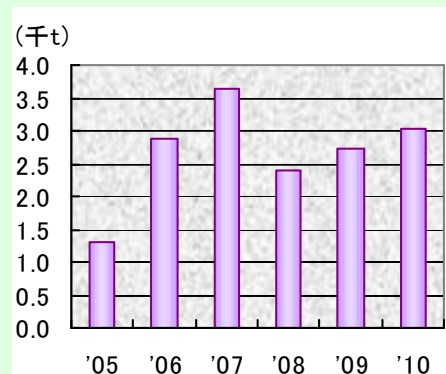
2007年度までは順調に取扱量を伸ばしていましたが、経済環境変化の影響もあり、2008年度には大幅に減少してしまいました。

2010年度は前期比11%増加し、徐々に回復しています。

当社ホームページにて、環境配慮商品も含め取扱商品の紹介も行っていますのでご覧ください。

【HP アドレス: <http://www.hanamurasangyo.co.jp>】

環境配慮商品取扱量推移



法規制等への対応

＜産業情報開示＞

産業廃棄物処分、収集運搬業者として、産廃情報ネット、当社ホームページにて産業情報を公開しています。

また、2007年7月26日に産業廃棄物処分業、2008年6月13日に産業廃棄物収集運搬業について、長野県の優良性基準適合業者として認定されています。

今後は、新しく制定された「優良産廃処理業者認定制度」での認定を目指していきます。

【産廃情報ネット:

<http://www.sanpainet.or.jp>】

主な許認可

種類		番号
長野県	産業廃棄物収集運搬業	第 2014004757
名古屋市	産業廃棄物収集運搬業	第 06400004757
長野県	産業廃棄物処分業	第 2024004757
長野県	破碎業	第 20204001625
松本市	一般廃棄物処理業	第 0331-0039
塩尻市	一般廃棄物収集運搬業(廃家電)	第 2 号
大町市	一般廃棄物収集運搬業(廃家電)	第 46 号
安曇野市	一般廃棄物収集運搬業(廃家電)	第 137 号
長野県	一般廃棄物処理施設設置(圧縮施設)	第 05-09404
長野県	一般廃棄物処理施設設置(切断施設)	第 05-09405
長野県	第一種フロン回収業者	第 2010017

＜家電製品回収＞

当社は廃家電製品の指定引取り場所として、エアコンやテレビ、冷蔵庫、洗濯機の引取りを行なっています。引取り場所は松本市市場の本社敷地内です。また、松本市、塩尻市、大町市、安曇野市については、廃家電の収集運搬業務も行なっています。

＜ダイオキシン測定結果の公開＞

アルミニウム工場では、法令に基づきダイオキシン類及び NO_x、SO_x を測定し、一般の方々にも公開しています。なお、測定結果は全て法令規制値を下回っています。また、最新の測定結果は当社ホームページにてご覧いただけます。(右の写真に写っている煙のようなものは、インゴットを鑄造する工程で冷却の際に発生する水蒸気です。害はありません。)



アルミニウム工場集塵機

設備	測定対象物	測定日	測定値	法令基準値
溶解炉用 集塵機 旧 TDC200CS	ダイオキシン類(N20T 炉)	2010.12.8	0.0045 ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
	ダイオキシン類(S20T 炉、可傾炉)	2010.12.10	0.0096 ng-TEQ/m ³ N	5 ng-TEQ/m ³ N
	NO _x	2011.2.9	54 vol ppm	180 vol ppm
	SO _x		0.52 m ³ N/h	12 m ³ N/h
	ばいじん濃度		0.0007 g/m ³ N	0.10 g/m ³ N
溶解炉用 集塵機 新 TDC200CS	ダイオキシン類(N20T 炉)	2010.8.24	0.041 ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
	ダイオキシン類(S20T 炉)	2010.7.22	2.2 ng-TEQ/m ³ N	5 ng-TEQ/m ³ N
	NO _x	2011.1.17	74 vol ppm	180 vol ppm
	SO _x		<0.38 m ³ N/h	12 m ³ N/h
	ばいじん濃度		0.0008 g/m ³ N	0.10 g/m ³ N
回転炉用 集塵機 TDC100CS	ダイオキシン類(回転炉 1 号)	2010.10.22	0.0013ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
	ダイオキシン類(回転炉 2 号)	2010.11.6	0.0034ng-TEQ/m ³ N	5 ng-TEQ/m ³ N
	NO _x	2011.2.9	26 vol ppm	180 vol ppm
	SO _x		<0.67 m ³ N/h	12 m ³ N/h
	ばいじん濃度		0.0071 g/m ³ N	0.10 g/m ³ N
ロータリー キルン (切粉乾燥炉)	ダイオキシン類	2010.9.1	0.0019 ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
	NO _x	2011.2.9	23 vol ppm	230 vol ppm
	SO _x		0.74 m ³ N/h	8.0 m ³ N/h
	ばいじん濃度		0.030 g/m ³ N	0.20 g/m ³ N

測定機関: 長野県労働基準協会連合会

環境コミュニケーション

■庄内事業所 リニューアル工事

・新鉄ヤード完成

庄内事業所の倉庫について、2009年9月に解体工事がスタートし、2010年1月から建設を行なっていましたが、2010年5月に建物が完成しました。建物と設備の検査や試運転を経て、2010年10月から本格稼動しています。



←新鉄ヤード外観



新鉄ヤード内部→

・設備紹介

①1,000t ギロチンプレス機



長材の鉄スクラップを細かく切断します。1,000トンの切断能力を有しながら、防音、免震性に優れ、周辺環境への配慮を行なっています。

②大型プレス機



ブリキ・スチール缶・廃自動車などを圧縮し、コンパクトに減容します。

③マグネット・油圧グラブ併用式天井クレーン マグネット付天井クレーン



大型のマグネットで、鉄スクラップの安定した荷降ろし、積み込みが可能です。

・地域住民の見学会開催

2010年12月24日に逢初町会の新鉄ヤード見学会を開催し、町会から11名が参加されました。



倉庫外への騒音対策や敷地外への排水について、また内部の機械設備について実物を見ながら説明させていただきました。



当初の約束通りの建物と設備となっており、参加した方は安心された様子でした。

■デマンドコントローラー設置

アルミニウム工場にて、2011年5月にデマンドコントローラーを設置しました。電力使用量が設定量に近づくと工場内のスピーカーから警告音が流れるように設定し、工場全体の電力使用量把握と省エネに取り組んでいます。

■新分析装置導入

アルミニウム工場の分析装置について、2011年5月にこれまで使用していた島津製 OES-1014 に替えて Thermo ARL 社製スパーク放電発光分光分析装置 (ARL4460) を導入しました。現在は 25 元素が設定されています。



↑新分析装置 ARL4460

■ガイガーカウンター購入

2011年3月の東日本大震災の際に起こった原発事故の影響により、スクラップの放射線量についても取引先等で受け入れ基準値が設定されています。放射線量測定器については、以前から庄内事業所にて1台保有していましたが、2011年6月に新たに5台のガイガーカウンターを購入し、リサイクル関連の5事業所に配備しました。

現在は、受け入れ時の放射線量チェックや各事業所における放射線量の測定などに活用しています。

環境活動のあゆみ

1977年	アルミ鑄造時におけるばいじん、粉じん対策として集塵装置設置 長野県産業廃棄物収集運搬業許可取得
1997年	長野県産業廃棄物処分業許可取得
2001年	ISO14001 認証取得活動キックオフ宣言 環境方針を制定し、全社 5S 活動開始 一般廃棄物許可取得 産業廃棄物収集運搬、積替保管申請 大田市一般廃棄物収集運搬(家電 4 品目限定)許可取得 信州環境フェア 2001 へ出典
2002年	4 サイトで ISO14001 認証取得 認証機関:財団法人電気安全環境研究所 JET 認証番号:E02-270 第一種フロン類回収業者登録証取得 家電リサイクル法施行に伴い、A グループ製品の指定収集場所に認定(庄内事業所)
2003年	ISO14001 認証全社取得 キルン集塵機のダイオキシン測定結果を公表(アルミニウム工場)
2005年	長野県一般廃棄物処理施設設備許可を取得
2006年	省エネ法にもとづき、第二種エネルギー管理指定工場に認定(アルミニウム工場)
2007年	集塵機、ロータリーキルン新設(アルミニウム工場) リニューアル工事に向け、地域説明会を開催(庄内事業所)
2008年	庄内事業所リニューアルに対し、逢初町会から同意書を頂く 廃金属の中国向輸出登録証取得(AQSIQ) ISO 外部審査を品質環境統合審査にて実施 北関東営業所で ISO14001 認証取得 第 1 回環境報告書作成・発行
2009年	家電製品引取り場所の変更(松本市庄内から松本市市場へ) エネルギー管理事務局発足 海外統括室で ISO14001 認証取得 庄内事業所倉庫解体工事 東京事業所と海外統括室で LED 蛍光灯導入
2010年	ヤングドライバークラブ再結成 ※庄内事業所新鉄ヤード完成・稼動
2011年	※安全推進委員発足 ※庄内事業所旧鉄ヤード解体工事 ※リサイクル関連の各事業所・営業所(庄内事業所、名古屋事業所、東京事業所、北関東営業所、アルミニウム工場)にガイガーカウンターを配備 ※アルミニウム工場にデマンドコントローラーを設置

※印が 2010 年度の出来事です。

事業所所在地

本社	〒399-8755	長野県松本市市場 5-26
営業部門		
<国内営業グループ>		
庄内事業所	〒390-0828	長野県松本市庄内 2-5-47
名古屋事業所	〒456-0024	愛知県名古屋市熱田区森後町 6-20
東京事業所	〒136-0071	東京都江東区亀戸 1-10-11
北関東営業所	〒329-0201	栃木県小山市粟宮 1861-3
アルミニウム工場	〒390-1131	長野県松本市今井松本道 7110-47
市場鉄鋼事業所	〒399-8755	長野県松本市市場 5-26
市場非鉄事業所	〒399-8755	長野県松本市市場 5-26
長野事業所	〒388-8004	長野県篠ノ井会字清水 18-1
千葉事業所	〒290-0066	千葉県市原市五所 1727-12
<海外営業グループ>	〒136-0071	東京都江東区亀戸 1-10-11 花村ビル 201
フィリピン駐在員事務所	Orient Gold Crest Compound Unit4, Lot6, Block7, First Cavite, Industrial Estate, Langkaan, Dasmariñas, Cavite, Philippines	
ベトナム駐在員事務所	Room 502B, Vigracera Exim Building, No 2 Hoang Quoc Viet Street, Nghia Do Ward., Cau Giay Dist., Hanoi	
管理部門		
管理室	〒399-8755	長野県松本市市場 5-26
品質保証室	〒399-8755	長野県松本市市場 5-26

発 行	花村産業(株) ISO 事務局
連 絡 先	Tel:0263-27-1850 Fax:0263-29-4740